

## 第11回北上市史編さん委員会（要旨）

日時：令和3年3月8日（月）午後1時28分～2時32分

場所：北上市役所 庁議室

出席者

委員：9名

事務局

次第

1 開会

2 あいさつ 及川委員長

3 報告

(1) 新編北上市史特別編自然の納品日の延期について

(2) 販売金額及びデザインについて

<質問等>

・総ページ数はどれくらいになるのか？

←現在3回目の校正の途中で、既定の400ページ前後になる見込みです。

・本自体の厚さはどれくらいになるのか？

←把握しておりません。

・自然のデザインは何か意味があるのか？また、民俗はどのようになるのか？

←見やすいようにとの委託業者からの提案によるものです。民俗は縦書きになり別の誌面となる予定です。

外側のデザインは濃紺一色では全体が暗めになるかと考え、明るくなるようなデザインを依頼し提案いただいたものです。

前回いただいたご意見に石灰化ドームの写真を掲載してほしいとのことでしたので、ドローン撮影による上からの写真を掲載します。

(3) 各部会の活動状況について

<質問等>

・民俗部会の調査は終わっているのか？

←執筆途中で補足調査をしたいができないという状況です。

・基本的な調査は終わっているが、不足な部分があって書けないということか？

←昨年度で本調査を終えて今年度は執筆しながら補足調査ということですが、思うようには進まないようです。

・今コロナウィルスが蔓延しているけれども、民俗じゃなくてもいずれかの時代で民間療法

や疫病などはどのように扱うのか？

←民俗で鬼剣舞による疫病退散やコラムなども検討しているところです。取り上げる際は節を加えるなど、既に決まっている目次案を改めて検討する必要があると考えます。

#### (4) 付帯事業について

<質問等>

・展勝地 100 周年はどのように取り上げられるのか？

←資料 3 の 19 ページ近代目次案に展勝地開園について取り上げることとしておりますが、100 周年までの扱いとはなりません。

現代でも取り扱いますが、観光資源としての展勝地という取り扱いとなる予定です。

複数の時代にまたがっているので、資料編ではそれぞれの時代で取り上げ、100 年間としての通した取り扱いは通史編近現代のほうがいいのかと考えます。通史編はこれから検討します。

・現代の目次案に財政などが取り上げられるようだが、現在の職員が関わる可能性があるのか？

←資料編への資料の提供依頼はあるが、通史編では職員から話を聞きたいという要望があるようです。

・執筆者は市外の人が多いようだから、市民の評価とのズレが懸念される。また、評価が定まっていないものの取り扱いが気になる。

## 4 協議

### (1) 入稿前の原稿について

<質問等>

・市史編さんの基本に市民に分かりやすくというのがあった。城館で笹間など現在の市外のものも取り上げられており良かったと思う。また、地図もあり場所が分かりやすくなっている。写真はどのようなものがあり、DVDにはどのようなものが入るのか？

←中世で取り上げる量が多く紙面に収まりきらないことから、縄張り図や現況写真などを入れる予定です。

・通史編には写真は入らないのか？

←今回の資料編は文献資料の掲載となり、通史編ではカラーで写真が掲載されるので、また別なものを掲載します。

・DVDは巻末に付くのか？

←そうなります。DVDを見られない方用に印刷したものを各図書館に置く予定です。

・昔の文献は読めないが、解説があるので救われる。ここを丁寧に扱うよう執筆者に伝えてほしい。

・資料編は研究者向けだからレベルは落とせないが、市民寄りの目線も必要。構成は旧市史のほうを評価する。古代で編年資料と法制史料に分けた理由は何か？

←確認しておりません。構成は部会員が検討し決めていただいたものです。

・法制史料は国家史的にはなじむが、一般的な市町村史で法制史料は適正かどうか疑問だ。  
目次や索引によって使いやすいかどうか決まる。凡例も含め中身とよくなじむといいと思う。  
まだ解説が抜けているところが多くあるようだ。市民目線であれば解説は重要なもの。堀部  
会員の原稿は難しい。陸奥話記が掲載されているところについては違和感がある。永田部会  
員と原稿を検討し共通性を持たせてもらいたい。

資料編は研究者向けではあるが市民目線も持ってもらいたいと思う。

国見山廃寺はよくまとめられている。一部中世に入れ込んだ部分があるが、国見山関係で  
重要なものは重なってもいいので、古代にも入れていいのではないか。

中世で取り上げられている吾妻鏡が、どこにあるのかわかりにくい。その部分を太字にす  
るなど読む人のための工夫を希望する。

時衆過去帳が掲載されているが更木の重阿弥陀仏がどこにあるかわからないし、この記載  
で正しいのかも分からない。確認してほしい。

・記載したものについての説明はあるのか？

←概説を掲載する予定です。

(2) その他

5 その他

来年度も2回の開催を予定しています。